



2025年10月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年9月12日

上場会社名 株式会社アシロ 上場取引所 東
コード番号 7378 URL <https://asiro.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中山 博登
問合せ先責任者 （役職名）管理本部 本部長 （氏名）荒木 康太郎 TEL 03（6279）4581
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年10月期第3四半期の連結業績（2024年11月1日～2025年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期第3四半期	5,046	53.0	1,179	537.1	1,175	562.7	794	—	815	—	794	—
2024年10月期第3四半期	3,298	—	185	—	177	—	△31	—	△23	—	△30	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	111.96	110.97
2024年10月期第3四半期	△3.13	△3.13

（注）当社は、2025年4月30日に株式会社ヒトタスの全株式を譲渡しました。これにより、HR事業のうち同社が営む人材派遣事業を非継続事業に分類しております。そのため、上記の連結経営成績（累計）の売上収益、営業利益及び税引前利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

（参考） EBITDA 2025年10月期第3四半期 1,282百万円 （前年同期比169.4％増）
2024年10月期第3四半期 476百万円 —
調整後EBITDA 2025年10月期第3四半期 1,227百万円 （前年同期比202.0％増）
2024年10月期第3四半期 406百万円 —

（注）当社の業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。各指標の定義及び計算方法については添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）当四半期のキャッシュ・フローの概況（参考情報）」をご覧ください。また、EBITDA及び調整後EBITDAの数値は、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2025年10月期第3四半期	4,622	2,939	2,921	63.2
2024年10月期	4,062	2,296	2,277	56.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	24.18	24.18
2025年10月期	—	0.00	—		
2025年10月期（予想）				37.80	37.80

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	6,541	36.3	1,378	319.1	1,374	331.1	886	592.0	919	546.3	円 銭 126.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 ー社 （社名）ー、除外 1社 （社名）株式会社ヒトタス

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期3Q	7,380,568株	2024年10月期	7,380,568株
② 期末自己株式数	2025年10月期3Q	90,619株	2024年10月期	102,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年10月期3Q	7,283,296株	2024年10月期3Q	7,239,686株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報)	14
(非金融資産の減損)	17
(1株当たり情報)	18
(非継続事業)	20
(重要な後発事象)	20

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が高水準で推移するなど景気回復の兆しも見られるものの、一方では各種生活必需品を中心とした急激な物価上昇や、欧米での関税政策などによる海外景気の下振れリスクなど、引き続き先行き不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻くインターネット広告市場におきましては、2024年の広告費は3兆6,517億円（前年比9.6%増加）となり、一貫して成長を続けている結果、2023年に続きマスコミ四媒体広告費（新聞、雑誌、ラジオ、テレビメディア広告費の合算）を上回りました。（出所：株式会社電通「2024年日本の広告費」）

このような事業環境のもと、当社グループはメディア事業を中心に事業を展開しており、当該事業においては主に弁護士を顧客とするリーガルメディアや、弁護士以外を顧客とする派生メディアを運営しております。また、メディア事業に加えて、弁護士・公認会計士といった士業人材や管理部門人材を対象とする人材紹介サービスを提供するHR事業や、弁護士に依頼する際の費用の一部を補償対象とする弁護士費用保険を販売する保険事業を展開しております。

主要事業であるメディア事業において、リーガルメディアでは、新規顧客開拓を推し進めるとともに、解約率の引き下げ並びに既存顧客からの追加受注に注力するなどした結果、2025年7月における掲載枠数（注1）は3,498枠（前年同月比21.7%増加）、掲載顧客数（注2）は1,196件（前年同月比8.0%増加）となり、順調に伸長しております。

（注1）掲載枠数とは、掲載延べ数であり、同一顧客が複数の広告枠掲載を行う場合は複数カウントを行っております。

（注2）掲載顧客数とは、広告枠の掲載を行っている顧客の実数であります。

また、派生メディアにおいては、足元は広告運用に苦戦しているものの、企業の採用意欲の高まりが継続していることや積極的な広告出稿等から転職メディア「キャリアズム」の案件数が増加し、当第3四半期連結累計期間における問合せ数は81,806件（前年同期比23.2%増加）となり、引き続き高水準を維持しております。

なお、保険事業については、より成長性が期待できる法人向け保険に注力する方針の下、これまで販売してきた個人向け保険は新規の販売を終了し、2025年7月1日より法人向け保険の販売を開始いたしました。

以上の結果、国際会計基準（IFRS）に準拠した当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は5,046,305千円（前年同期比53.0%増）、営業利益は1,179,490千円（前年同期比537.1%増）、税引前四半期利益は1,174,733千円（前年同期比562.7%増）、四半期利益は754,338千円（前年同期比2994.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は815,414千円（前年同期は22,657千円の損失）となりました。

当社は、2025年4月30日に株式会社ヒトタス（以下、ヒトタス）の全株式を同社代表取締役の鈴木輝氏（以下、鈴木氏）に譲渡しました。これにより、HR事業のうちヒトタスが営む人材派遣事業は非継続事業に分類され、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における売上収益、親会社の所有者に帰属する四半期利益を除く各段階の利益の金額については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

当社は2025年10月期に売上収益55億円、営業利益11億円の達成を主な目標とする中期経営計画を策定しており、そのための施策として前期、前々期の2カ年については中長期的な成長のための投資を積極化させる「成長投資期間」と位置付ける一方、当連結会計年度については大幅な投資は抑制し、通常程度のコストコントロール下で実態の利益水準をお示しする「利益創出期間」と位置付けております。そのため、当第3四半期連結累計期間の各段階利益に関しては前年同期比で大幅に伸長しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。売上収益はセグメント間取引の相殺消去後の数値であります。

[メディア事業]

リーガルメディアの掲載枠数及び掲載顧客数の増加に伴う掲載料収入等の増加に加えて、新たなユーザーの獲得に向けた施策検討を行うとともに、前期より徐々に拡大してきた高価格商品の販売が好調に推移いたしました。また、派生メディアにおいては、企業の採用意欲の高まりが継続していることや積極的な広告出稿といった背景から転職メディア「キャリアズム」の案件数が増加いたしました。なお、派生メディアは主に転職メディア「キャリアズム」が同事業の大半の収益を占めております。以上の結果、売上収益は4,755,276千円（前年同期比53.3%増）、セグメント利益は1,585,669千円（同134.0%増）となりました。

なお、リーガルメディアの売上収益は2,906,202千円（同72.3%増）、営業利益は1,208,647千円（同154.3%増）となりました。また、派生メディアの売上収益は1,849,075千円（同30.6%増）、営業利益は377,022千円（同86.3%増）となりました。

〔HR事業〕

人材紹介に関しては、今期は効率性を重視した体制により売上収益の拡大と黒字化を目指して取り組んでおります。以上の結果、売上収益は238,660千円（前年同期比72.2%増）、セグメント利益は50,135千円（前年同期は103,109千円の損失）となりました。

なお、前述のとおりヒトタスが営む人材派遣事業は非継続事業に分類され、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における売上収益、セグメント利益の金額については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

〔保険事業〕

株式会社アシロ少額短期保険が営む保険事業は、これまで既存商品の拡販に注力しておりましたが、前期より主に新商品の開発に注力しており、商品開発等今後の成長に向けた準備を行ってまいりました。2025年7月1日付で新商品をリリースいたしました。本格的な販売は来期からを見込んでおります。以上の結果、売上収益は52,368千円（前年同期比8.4%減）、セグメント損益は100,807千円の損失（前年同期は103,008千円の損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ684,790千円増加し3,110,514千円となりました。これは主に現金及び現金同等物が640,695千円、売上債権及びその他の債権が28,448千円増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は、前期末に比べ124,057千円減少し1,511,755千円となりました。これは主にその他の金融資産が21,827千円増加し、有形固定資産が25,102千円、使用権資産が124,786千円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,622,269千円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前期末に比べ127,578千円増加し1,417,076千円となりました。これは主に未払法人所得税が110,377千円、仕入債務及びその他の債務が20,906千円増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は、前期末に比べ209,593千円減少し266,393千円となりました。これは主に社債及び借入金が78,088千円、リース負債が80,851千円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,683,469千円となりました。

③資本

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前期末に比べ642,748千円増加し2,938,799千円となりました。これは主に四半期利益の計上により利益剰余金が815,414千円増加、期末配当の実施等により資本剰余金が180,184千円減少したことによります。

（3）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ640,695千円増加し、2,237,165千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,027,109千円の資金流入（前年同期は409,558千円の資金流入）となりました。これは主に、増加要因として税引前四半期利益の計上1,174,733千円、仕入債務及びその他の債務の増加35,469千円、減価償却費及び償却費の計上108,886千円、減少要因として売上債権及びその他の債権の増加46,534千円、法人所得税の支払額292,456千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは46,819千円の資金流出(同8,706千円の資金流出)となりました。これは主に、増加要因として子会社(ヒトタス)の売却による収入14,715千円、減少要因として、貸付けによる支出43,963千円、無形資産の取得による支出14,400千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは339,595千円の資金流出(同265,701千円の資金流出)となりました。これは主に、減少要因として配当金の支払による支出175,601千円、リース負債の返済による支出76,931千円、長期借入金の返済による支出63,622千円、社債の償還による支出35,000千円によるものであります。

(参考情報)

当社グループは、投資家が会計基準の差異にとらわれることなく、当社グループの業績評価を行い、当社グループの企業価値についての純粋な成長を把握するうえで有用な情報を提供することを目的として、EBITDA及び調整後EBITDAを経営成績に関する参考指標として公表することとしました。EBITDAは、営業利益から非資金費用項目(減価償却費及び償却費)等の影響を除外しております。また、調整後EBITDAは、EBITDAからIFRS適用に伴う非資金費用項目(株式報酬費用、使用権資産の償却費等)の影響を除外しております。

EBITDA及び調整後EBITDAの計算式及び算出方法は次のとおりであります。

- ・ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費 - その他の収益 + その他の費用
- ・ 調整後EBITDA = EBITDA ± IFRS適用に伴う非資金費用項目

なお、前述のとおりヒトタスが営む人材派遣事業は非継続事業に分類され、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間におけるEBITDA及び調整後EBITDA、並びにそれらを算出するための各金額については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
財務諸表における営業利益	185,149	1,179,490
+ 減価償却費及び償却費	117,085	108,801
- その他の収益	△30,943	△9,902
+ その他の費用	204,460	3,171
小計	290,603	102,070
EBITDA	475,751	1,281,561
+ 有給休暇引当金繰入額	5,480	7,049
+ 株式報酬費用	8,910	12,547
+ 敷金の計上額の調整	133	267
- 使用権資産償却費の調整	△83,852	△74,124
小計	△69,329	△54,260
調整後EBITDA	406,422	1,227,300

(注) 千円未満は四捨五入して記載しております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、当社基幹事業であるメディア事業が好調に伸長したことに加え、HR事業が初めて黒字で着地する見込みであることなど好調に推移したことから、2024年12月13日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。なお、当該修正に関する開示は、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,596,471	2,237,165
売上債権及びその他の債権	785,135	813,583
その他の流動資産	44,118	55,334
その他の金融資産	—	4,432
流動資産合計	2,425,724	3,110,514
非流動資産		
有形固定資産	79,714	54,612
使用権資産	204,241	79,454
のれん	1,138,725	1,138,725
無形資産	16,709	13,251
その他の金融資産	120,882	142,709
繰延税金資産	75,023	75,315
その他の非流動資産	517	7,688
非流動資産合計	1,635,812	1,511,755
資産合計	4,061,536	4,622,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	557,773	578,678
社債及び借入金	149,362	130,594
保険契約負債	39,345	50,665
未払法人所得税	177,338	287,715
リース負債	103,801	107,721
その他の金融負債	70,452	64,140
その他の流動負債	191,427	197,562
流動負債合計	1,289,498	1,417,076
非流動負債		
社債及び借入金	343,471	265,383
リース負債	81,861	1,010
その他の金融負債	5	—
引当金	50,649	—
非流動負債合計	475,986	266,393
負債合計	1,765,484	1,683,469
資本		
資本金	610,556	610,556
資本剰余金	870,381	690,197
利益剰余金	865,319	1,680,733
自己株式	△70,333	△62,043
その他の資本の構成要素	1,207	1,703
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,277,131	2,921,147
非支配持分	18,920	17,653
資本合計	2,296,051	2,938,799
負債及び資本合計	4,061,536	4,622,269

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
継続事業		
売上収益	3,298,264	5,046,305
売上原価	2,092,235	3,007,062
売上総利益	1,206,029	2,039,243
販売費及び一般管理費	847,363	866,483
その他の収益	30,943	9,902
その他の費用	204,460	3,171
営業利益	185,149	1,179,490
金融収益	189	1,557
金融費用	8,064	6,315
税引前四半期利益	177,273	1,174,733
法人所得税費用	152,895	420,394
継続事業からの四半期利益	24,378	754,338
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△54,960	39,944
四半期利益 (△損失)	△30,582	794,282
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△22,657	815,414
非支配持分	△7,925	△21,132
四半期利益 (△損失)	△30,582	794,282
1株当たり四半期利益 (△損失)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	4.46	106.47
非継続事業	△7.59	5.48
合計	△3.13	111.96
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	4.45	105.54
非継続事業	△7.56	5.44
合計	△3.12	110.97

(要約四半期連結損益計算書)

第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
継続事業		
売上収益	1,195,351	1,702,405
売上原価	740,832	1,063,589
売上総利益	454,519	638,816
販売費及び一般管理費	279,993	310,747
その他の収益	11,053	3,182
その他の費用	1,000	2,700
営業利益	184,580	328,552
金融収益	62	762
金融費用	2,530	2,005
税引前四半期利益	182,111	327,309
法人所得税費用	67,663	126,271
継続事業からの四半期利益	114,449	201,038
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△13,018	—
四半期利益	101,431	201,038
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	101,840	212,546
非支配持分	△409	△11,508
四半期利益	101,431	201,038
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	15.85	29.16
非継続事業	△1.80	—
合計	14.05	29.16
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	15.79	28.66
非継続事業	△1.79	—
合計	14.00	28.66

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
四半期利益 (△損失)	△30,582	794,282
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正 価値に係る純変動の有効部分	101	4
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	101	4
その他の包括利益合計	101	4
四半期包括利益	△30,481	794,286
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△22,556	815,418
非支配持分	△7,925	△21,132
四半期包括利益	△30,481	794,286

(要約四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期利益	101,431	201,038
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正 価値に係る純変動の有効部分	24	—
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	24	—
その他の包括利益合計	24	—
四半期包括利益	101,456	201,038
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	101,864	212,546
非支配持分	△409	△11,508
四半期包括利益	101,456	201,038

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の 構成要素
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	新株 予約権
2023年11月1日 時点の残高	608,453	963,797	723,159	△81,338	3,251
四半期利益(△損失)	—	—	△22,657	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△22,657	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	8,910	—	—	—
自己株式の処分	—	△11,006	—	11,006	—
剰余金の配当	—	△98,424	—	—	—
新株予約権の失効	—	84	—	—	△84
連結子会社の増資に 伴う持分の変動	—	△2	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	△100,438	—	11,006	△84
2024年7月31日 時点の残高	608,453	863,359	700,501	△70,333	3,167

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分		親会社の所有者 に帰属する持分	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素 キャッシュ・フロー・ ヘッジ	合計			
2023年11月1日 時点の残高	△112	3,139	2,217,209	10,241	2,227,450
四半期利益(△損失)	—	—	△22,657	△7,925	△30,582
その他の包括利益	101	101	101	—	101
四半期包括利益合計	101	101	△22,556	△7,925	△30,481
譲渡制限付株式報酬	—	—	8,910	—	8,910
自己株式の処分	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△98,424	—	△98,424
新株予約権の失効	—	△84	—	—	—
連結子会社の増資に 伴う持分の変動	—	—	△2	22,843	22,841
所有者との 取引額等合計	—	△84	△89,516	22,843	△66,673
2024年7月31日 時点の残高	△10	3,156	2,105,137	25,160	2,130,296

当第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の 構成要素 新株 予約権
2024年11月1日 時点の残高	610,556	870,381	865,319	△70,333	1,211
四半期利益(△損失)	—	—	815,414	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	815,414	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	12,547	—	—	—
自己株式の処分	—	△8,290	—	8,290	—
剰余金の配当	—	△175,978	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	492
連結子会社の増資に 伴う持分の変動	—	△8,463	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	△180,184	—	8,290	492
2025年7月31日 時点の残高	610,556	690,197	1,680,733	△62,043	1,703

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ	合計			
2024年11月1日 時点の残高	△4	1,207	2,277,131	18,920	2,296,051
四半期利益(△損失)	—	—	815,414	△21,132	794,282
その他の包括利益	4	4	4	—	4
四半期包括利益合計	4	4	815,418	△21,132	794,286
譲渡制限付株式報酬	—	—	12,547	—	12,547
自己株式の処分	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△175,978	—	△175,978
新株予約権の発行	—	492	492	—	492
連結子会社の増資に 伴う持分の変動	—	—	△8,463	19,865	11,401
所有者との 取引額等合計	—	492	△171,402	19,865	△151,537
2025年7月31日 時点の残高	—	1,703	2,921,147	17,653	2,938,799

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	177,273	1,174,733
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	△54,960	24,721
減価償却費及び償却費	117,251	108,886
非金融資産の減損損失	203,460	—
固定資産除却損	—	271
関係会社株式売却益	—	△16,883
金融収益	△189	△1,584
金融費用	8,064	6,315
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△193,857	△46,534
その他の流動資産の増減額(△は増加)	28,019	△9,591
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	106,461	35,469
保険契約負債の増減額(△は減少)	△17,960	11,320
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45,628	19,456
その他の金融負債の増減額(△は減少)	19,617	3,169
株式報酬費用	8,910	12,547
その他	△2,843	637
小計	444,873	1,322,931
利息の受取額	6	962
利息の支払額	△4,963	△4,329
法人所得税の支払額	△48,726	△292,456
法人所得税の還付額	18,368	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,558	1,027,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,606	△4,792
無形資産の取得による支出	—	△14,400
敷金及び保証金の差入による支出	△1,100	△1,108
敷金及び保証金の回収による収入	—	729
貸付けによる支出	—	△43,963
貸付金の回収による収入	—	2,000
子会社の売却による収入	—	14,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,706	△46,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配持分からの払込による収入	22,841	11,401
新株予約権の発行による収入	—	492
配当金の支払いによる支出	△97,936	△175,601
長期借入金の返済による支出	△79,182	△63,622
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
リース負債の返済による支出	△76,007	△76,931
その他	△417	△333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,701	△339,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	135,151	640,695
現金及び現金同等物の期首残高	1,225,953	1,596,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,361,104	2,237,165

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、複数のメディアサイトの運営及びHR事業、保険事業等を展開しておりますが、事業活動の内容等、適切な情報を提供するため、サービス等の要素が概ね類似する事業セグメントを集約し、「メディア事業」、「HR事業」、「保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

「メディア事業」は、「ベンナビシリーズ」を中心としたリーガルメディアと、転職メディア「キャリアズム」等の派生メディアの運営を行っております。

「HR事業」は、厚生労働大臣の許可を受けて、職業安定法に基づく有料職業紹介事業等を行っております。

「保険事業」は、弁護士費用保険の販売等を行っております。

当社は、2025年4月25日開催の取締役会において、ヒトタスの全株式を鈴木氏に譲渡すること、並びに鈴木氏に対してヒトタスの株式取得資金の一部を当社より貸付けることを決議し、2025年4月30日にヒトタスの全株式を鈴木氏に譲渡しました。これにより、HR事業のうちヒトタスが営む人材派遣事業を非継続事業に分類しており、セグメント情報は非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。なお、詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（非継続事業）」に記載しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年11月1日 至 2024年7月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結
	メディア 事業	HR事業	保険事業	計		
売上収益						
外部収益	3,102,505	138,609	57,150	3,298,264	—	3,298,264
セグメント間収益	1,471	2,496	—	3,967	△3,967	—
合計	3,103,976	141,105	57,150	3,302,231	△3,967	3,298,264
セグメント利益又は 損失（損失は△）	677,663	△103,109	△103,008	471,546	△286,398	185,149
金融収益	—	—	—	—	—	189
金融費用	—	—	—	—	—	8,064
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	177,273
その他の項目						
非金融資産の減損損失 (注2)	136,549	—	66,911	203,460	—	203,460

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. 非金融資産の減損損失の詳細については、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(非金融資産の減損)」に記載しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	メディア 事業	HR事業	保険事業	計		
売上収益						
外部収益	4,755,276	238,660	52,368	5,046,305	—	5,046,305
セグメント間収益	1,130	1,500	—	2,630	△2,630	—
合計	4,756,406	240,160	52,368	5,048,935	△2,630	5,046,305
セグメント利益又は 損失（損失は△）	1,585,669	50,135	△100,807	1,534,997	△355,507	1,179,490
金融収益	—	—	—	—	—	1,557
金融費用	—	—	—	—	—	6,315
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	1,174,733

(注) セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

前第3四半期連結会計期間（自 2024年5月1日 至 2024年7月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	メディア 事業	HR事業	保険事業	計		
売上収益						
外部収益	1,133,209	42,456	19,687	1,195,351	—	1,195,351
セグメント間収益	302	—	—	302	△302	—
合計	1,133,510	42,456	19,687	1,195,653	△302	1,195,351
セグメント利益又は 損失（損失は△）	309,433	△22,426	△1,747	285,260	△100,680	184,580
金融収益	—	—	—	—	—	62
金融費用	—	—	—	—	—	2,530
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	182,111

（注）セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

当第3四半期連結会計期間（自 2025年5月1日 至 2025年7月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	メディア 事業	HR事業	保険事業	計		
売上収益						
外部収益	1,632,286	53,392	16,727	1,702,405	—	1,702,405
セグメント間収益	248	—	—	248	△248	—
合計	1,632,534	53,392	16,727	1,702,653	△248	1,702,405
セグメント利益又は 損失（損失は△）	522,533	△12,001	△54,021	456,510	△127,958	328,552
金融収益	—	—	—	—	—	762
金融費用	—	—	—	—	—	2,005
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	327,309

（注）セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(非金融資産の減損)

(1) 資金生成単位

当社グループでは、資金生成単位として他の資産または資産グループからおおむね独立したキャッシュ・イン・フローを生み出す最小単位の資産グループとしております。のれんについては、企業結合のシナジーから便益を享受できると期待される資金生成単位または資金生成単位グループに配分しております。

(2) 減損損失

減損損失を認識した資産の種類別内訳は以下のとおりであります。なお、減損損失のセグメント別内訳は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載しております。

(単位：千円)

種類	セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
のれん	メディア事業	136,549	—
のれん	保険事業	64,930	—
使用権資産	保険事業	1,982	—

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

メディア事業におけるのれんは、当社が2023年3月に株式会社ビッコレの全株式を取得して子会社化したことで生じたものであり、136,549千円ののれんを計上しておりました。なお、株式会社ビッコレは2023年6月に当社へ吸収合併されております。ビッコレ関連事業は利益面においては買収時の事業計画を上回って推移をしていましたが、直近において従来の主要送客先にて広告費の大幅な絞り込みがあり送客先の変更を余儀なくされ、代替の送客先においては送客条件が大幅に悪化し、成長路線への回帰には追加的なコストと時間が必要となると判断したことから、経営資源を最適化すべく同事業は非注力とする方針に転換しました。当該事象により減損の兆候が認められたため、減損テストを実施した結果、当初想定していた収益性が見込めなくなったことにより、のれん136,549千円の全額を減損損失として計上いたしました。なお、当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。また、減損テストにおける回収可能価額には使用価値を用いており、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、割引率の記載を省略しております。

保険事業におけるのれんは、当社が2022年4月に株式会社アシロ少額短期保険の株式を取得して子会社化したことで生じたものであり、当初163,265千円ののれんを計上しておりました。その後、買収時に想定していた当初の計画よりも保有契約件数の積み上げの進捗が鈍い状況を踏まえ、前連結会計年度末にのれんの一部である98,335千円を減損損失として計上いたしました。当期においてはウェブマーケティングに加えて代理店経由の販売にも取り組んでおりましたが、投資対効果の目立った改善には至っておらず、また既存商品の販促に向けた投資を抑制するとともに、新規商品の開発を推進する事業運営方針の変更を決定しました。当該事象により減損の兆候が認められたため、減損テストを実施した結果、当初想定していた収益性が見込めなくなったことにより、のれんの全額となる64,930千円及び保険事業における使用権資産の残高1,982千円を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。また、減損テストにおける回収可能価額には使用価値を用いており、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、割引率の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△損失) (千円)	△22,657	815,414
継続事業	32,303	775,470
非継続事業	△54,960	39,944
希薄化に伴う四半期利益調整額(千円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(△損失)(千円)	△22,657	815,414
継続事業	32,303	775,470
非継続事業	△54,960	39,944
加重平均普通株式数(株)	7,239,686	7,283,296
新株予約権による増加(株)	26,836	64,446
希薄化後普通株式の期中平均株式数(株)	7,266,522	7,347,743
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.13	111.96
継続事業	4.46	106.47
非継続事業	△7.59	5.48
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.12	110.97
継続事業	4.45	105.54
非継続事業	△7.56	5.44
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり 四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 新株予約権の数 1,450個 (普通株式145,000株)	—

	前第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△損失) (千円)	101,840	212,546
継続事業	114,857	212,546
非継続事業	△13,018	—
希薄化に伴う四半期利益調整額 (千円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益 (△損失) (千円)	101,840	212,546
継続事業	114,857	212,546
非継続事業	△13,018	—
加重平均普通株式数 (株)	7,247,841	7,289,949
新株予約権による増加 (株)	27,086	126,082
希薄化後普通株式の期中平均株式数 (株)	7,274,927	7,416,031
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	14.05	29.16
継続事業	15.85	29.16
非継続事業	△1.80	—
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	14.00	28.66
継続事業	15.79	28.66
非継続事業	△1.79	—
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり 四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 新株予約権の数 1,450個 (普通株式145,000株)	—

(非継続事業)

(1) 非継続事業の概要

当社は、2025年4月25日開催の取締役会において、ヒトタスの全株式を鈴木氏に譲渡すること、並びに鈴木氏に対してヒトタスの株式取得資金の一部を当社より貸付けることを決議し、2025年4月30日にヒトタスの全株式を鈴木氏に譲渡しました。これにより、HR事業のうちヒトタスが営む人材派遣事業を非継続事業に分類しております。

(2) 非継続事業の損益

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
非継続事業		
収益(注)	64,115	107,980
費用	119,075	83,260
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	△54,960	24,721
法人所得税費用(注)	—	△15,223
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△54,960	39,944

(注) 当第3四半期連結累計期間における非継続事業の収益には、ヒトタス株式の売却益16,883千円及びこれに係る法人所得税費用△17,855千円が含まれております。

(3) 非継続事業のキャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
非継続事業のキャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,277	6,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△6,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△30,030
非継続事業のキャッシュ・フロー純額	△52,277	△29,930

(重要な後発事象)

該当事項はありません。